



平成19年2月期 第3四半期財務・業績の概況(連結) 平成19年1月12日

上場会社名 わらべや日洋株式会社

(コード番号: 2918 東証第一部)

(URL <http://www.warabeya.co.jp/>)

問合せ先

代表者役職 代表取締役社長 氏名 陶 新二

責任者役職 常務取締役管理本部長 氏名 窪田 彰二 (TEL: (042)345 - 3131)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容) 税金費用の計算等につきましては、一部簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年2月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年3月1日~平成18年11月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年2月期第3四半期	104,175	1.1	3,262	112.0	3,094	112.0	1,332	105.2
18年2月期第3四半期	103,026	6.4	1,538	53.8	1,459	54.9	649	65.0
(参考) 18年2月期	135,950		1,640		1,384		401	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年2月期第3四半期	81	41	80	89
18年2月期第3四半期	41	00	40	48
(参考) 18年2月期	22	97	22	64

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

期中平均株式数(連結) 19年2月期第3四半期 16,372,282株

18年2月期第3四半期 15,840,634株

18年2月期 16,057,707株

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国経済は、高水準の企業業績を背景に設備投資の増加や、雇用環境の改善から個人消費についても堅調な動きとなり、内外需の好調により回復が継続しました。

しかしながら、食品業界におきましては、消費者ニーズの多様化による競争激化、輸入食材の値上がり、原油価格の高騰などによる物流コストの上昇など経営環境は依然厳しい状況が継続しております。

このような状況下、当社グループは消費者の皆様の要望に応えるため、グループ各社の連携により、高品質で価値ある商品づくりに引き続き取り組んでまいりました。特に食品関連事業におきましては、地域特性を踏まえた新商品も含め、効率性を意識しつつ、コストダウンを推し進めてまいりました。また、前期より連結子会社となった株式会社わらべやによる市場開拓を推進し、さらに平成18年10月にはわらべや関西株式会社が、兵庫県三木市の工場運営を開始し、商品供給エリアの拡大を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期の当社グループの売上高は、1,041億7千5百万円(前年同期比1.1%増)となりました。また、経常利益につきましては、30億9千4百万円(前年同期比112.0%増)、四半期純利益につきましては、13億3千2百万円(前年同期比105.2%増)となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年2月期第3四半期	63,634	25,589	40.2	1,558 96
18年2月期第3四半期	59,320	24,736	41.7	1,512 77
(参考) 18年2月期	58,819	24,537	41.7	1,498 66

(注)期末発行済株式数(連結) 19年2月期第3四半期 16,405,281株
 18年2月期第3四半期 16,351,846株
 18年2月期 16,351,586株

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年2月期第3四半期	5,059	4,268	2,559	8,151
18年2月期第3四半期				
(参考) 18年2月期	3,100	8,794	5,749	4,805

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における総資産は、前第3四半期末に比べて43億1千4百万円増加し、636億3千4百万円となりました。純資産につきましては、8億5千3百万円増加し255億8千9百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動による資金の増加は、50億5千9百万円となりました。この主な要因は税金等調整前四半期純利益27億6千3百万円と減価償却費20億2千8百万円によります。

投資活動による資金の減少は、42億6千8百万円となりました。この主な要因は有形固定資産の取得による支出40億9千8百万円によります。

財務活動による資金の増加は、25億5千9百万円となりました。この主な要因は長期借入れによる収入28億8千8百万円によります。

この結果、「現金及び現金同等物」の当第3四半期末残高は前連結会計年度末と比較して33億4千6百万円増加し81億5千1百万円となりました。

[参考]

平成19年2月期の連結業績予想(平成18年3月1日～平成19年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	141,010	3,104	1,272

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期)77円54銭

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報あるいは想定できる市場動向などを前提としており、不確実性が含まれています。実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想につきましては、平成18年10月12日発表の数値を変更しておりません。また、1株当たり予想当期純利益につきましては、当第3四半期末の発行済株式数(16,405,281株)をもって算出しております。

1. (要約) 第3四半期連結貸借対照表

区 分	前第3四半期末 (平成17年11月30日現在)		当第3四半期末 (平成18年11月30日現在)		増 減		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成18年2月28日現在)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資 産 の 部)								
I 流動資産	24,697	41.6	24,977	39.3	279	1.1	20,882	35.5
1. 現金及び預金	4,725		8,151		3,425		4,805	
2. 受取手形及び売掛金	12,327		12,230		△96		11,883	
3. たな卸資産	3,017		2,567		△450		2,270	
4. その他	4,628		2,047		△2,580		1,924	
貸倒引当金	△1		△19		△17		△1	
II 固定資産	34,573	58.3	38,589	60.6	4,016	11.6	37,827	64.3
1. 有形固定資産	28,786	48.5	32,805	51.5	4,019	14.0	31,854	54.2
(1) 建物及び構築物	12,346		13,941		1,594		14,643	
(2) 機械装置及び運搬具	3,938		4,184		246		4,585	
(3) 土地	12,283		12,277		△5		12,283	
(4) 建設仮勘定	42		2,208		2,166		118	
(5) その他	175		193		18		223	
2. 無形固定資産	1,018	1.7	1,135	1.8	117	11.5	1,018	1.7
3. 投資その他の資産	4,768	8.1	4,648	7.3	△120	△2.5	4,954	8.4
III 繰延資産	49	0.1	67	0.1	18	36.8	109	0.2
資産合計	59,320	100.0	63,634	100.0	4,314	7.3	58,819	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

区 分	前第3四半期末 (平成17年11月30日現在)		当第3四半期末 (平成18年11月30日現在)		増 減		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成18年2月28日現在)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(負債の部)								
I 流動負債	25,539	43.1	25,601	40.2	62	0.2	21,880	37.2
1. 支払手形及び買掛金	8,659		8,326		△332		8,063	
2. 短期借入金	9,236		9,467		231		6,807	
3. 未払金	3,429		4,305		875		4,737	
4. その他	4,214		3,502		△712		2,273	
II 固定負債	9,029	15.2	12,442	19.6	3,413	37.8	12,387	21.1
1. 社債	150		150		—		150	
2. 長期借入金	7,071		10,523		3,451		10,400	
3. 退職給付引当金	1,452		1,506		54		1,474	
4. 役員退職慰労引当金	304		204		△100		311	
5. その他	50		58		7		50	
負債合計	34,568	58.3	38,044	59.8	3,475	10.1	34,268	58.3
(少数株主持分)								
少数株主持分	14	0.0	—	—	—	—	13	0.0
(資本の部)								
I 資本金	7,106	12.0	—	—	—	—	7,106	12.1
II 資本剰余金	7,201	12.1	—	—	—	—	7,201	12.2
III 利益剰余金	10,434	17.6	—	—	—	—	10,186	17.3
IV その他有価証券 評価差額金	39	0.1	—	—	—	—	73	0.1
V 為替換算調整勘定	△32	△0.1	—	—	—	—	△16	△0.0
VI 自己株式	△12	△0.0	—	—	—	—	△13	△0.0
資本合計	24,736	41.7	—	—	—	—	24,537	41.7
負債・少数株主持分 及び資本合計	59,320	100.0	—	—	—	—	58,819	100.0

区 分	前第3四半期末 (平成17年11月30日現在)		当第3四半期末 (平成18年11月30日現在)		増 減		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成18年2月28日現在)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(純資産の部)								
I 株主資本	—	—	25,562	40.2	—	—	—	—
1. 資本金	—		7,141	11.2	—		—	
2. 資本剰余金	—		7,235	11.4	—		—	
3. 利益剰余金	—		11,199	17.6	—		—	
4. 自己株式	—		△14	△0.0	—		—	
II 評価・換算差額等	—	—	12	0.0	—	—	—	—
1. その他有価証券 評価差額金	—		13		—		—	
2. 繰延ヘッジ損益	—		14		—		—	
3. 為替換算調整勘定	—		△15		—		—	
III 少数株主持分	—	—	14	0.0	—	—	—	—
純資産合計	—	—	25,589	40.2	—	—	—	—
負債純資産合計	—	—	63,634	100.0	—	—	—	—

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. (要約) 第3四半期連結損益計算書

区 分	前第3四半期 (自 平成17年3月1日 至 平成17年11月30日)		当第3四半期 (自 平成18年3月1日 至 平成18年11月30日)		増 減		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成17年3月1日 至 平成18年2月28日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高	103,026	100.0	104,175	100.0	1,148	1.1	135,950	100.0
II 売上原価	89,172	86.6	88,331	84.8	△841	△0.9	117,994	86.8
売上総利益	13,854	13.4	15,844	15.2	1,989	14.4	17,956	13.2
III 販売費及び一般管理費	12,315	11.9	12,581	12.1	265	2.2	16,316	12.0
営業利益	1,538	1.5	3,262	3.1	1,723	112.0	1,640	1.2
IV 営業外収益	520	0.5	520	0.5	0	0.0	620	0.5
1. 受取利息及び配当金	32		28		△4		39	
2. その他	488		492		4		581	
V 営業外費用	599	0.6	688	0.6	89	14.9	876	0.7
1. 支払利息	161		202		41		220	
2. その他	438		486		47		655	
経常利益	1,459	1.4	3,094	3.0	1,634	112.0	1,384	1.0
VI 特別利益	—	—	—	—	—	—	45	0.0
1. 火災保険差益	—		—		—		45	
VII 特別損失	67	0.1	330	0.3	263	392.3	188	0.1
1. 役員退職慰労金	35		—		△35		35	
2. 火災損失	31		—		△31		49	
3. 減損損失	—		223		223		—	
4. 債務保証損失 引当金繰入	—		107		107		—	
5. たな卸資産処分損	—		—		—		102	
税金等調整前 四半期(当期)純利益	1,392	1.3	2,763	2.7	1,371	98.5	1,242	0.9
税金費用	741	0.7	1,429	1.4	688	92.9	840	0.6
少数株主利益	1	0.0	1	0.0	△0	△28.4	1	0.0
四半期(当期)純利益	649	0.6	1,332	1.3	683	105.2	401	0.3

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. (要約) 第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当第3四半期 (自平成18年3月1日 至平成18年11月30日)	前連結会計年度の 要約連結キャッシュ・ フロー計算書 (自平成17年3月1日 至平成18年2月28日)
区 分	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,763	1,242
減価償却費	2,028	2,544
減損損失	223	—
連結調整勘定償却額	82	110
貸倒引当金増減額	17	3
退職給付引当金増減額	32	56
役員退職慰労引当金増減額	△107	△45
受取利息及び受取配当金	△28	△39
支払利息	202	220
売上債権の増減額	△347	10
たな卸資産の増減額	△292	653
仕入債務の増減額	263	△772
未払金の増減額	259	502
取締役賞与金支払額	△32	△70
その他	1,027	△96
小 計	6,094	4,320
利息及び配当金の受取額	23	39
利息の支払額	△200	△221
法人税等の支払額	△857	△1,115
その他	—	78
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,059	3,100
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,098	△7,994
貸付による支出	△118	△976
貸付金の回収による収入	66	75
その他	△117	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,268	△8,794
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	1,457	△1,062
長期借入れによる収入	2,888	4,508
長期借入金の返済による支出	△1,567	△1,922
新株の発行による収入	68	4,673
配当金の支払額	△285	△244
その他	△0	△203
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,559	5,749
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	15
V 現金及び現金同等物の増減額	3,346	70
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,805	4,734
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	8,151	4,805

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

4. セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

当第3四半期(自平成18年3月1日至平成18年11月30日)

(単位：百万円)

	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連 結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	79,313	15,362	7,113	2,385	104,175	—	104,175
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	949	1,198	1,620	3,768	△3,768	—
計	79,313	16,311	8,312	4,006	107,944	△3,768	104,175
営業費用	76,701	16,209	7,963	3,890	104,765	△3,852	100,913
営業利益	2,612	102	349	115	3,179	83	3,262

前第3四半期(自平成17年3月1日至平成17年11月30日)

(単位：百万円)

	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連 結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	76,844	17,637	6,506	2,037	103,026	—	103,026
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	827	1,297	2,616	4,742	△4,742	—
計	76,844	18,464	7,804	4,654	107,769	△4,742	103,026
営業費用	75,985	18,251	7,448	4,521	106,207	△4,718	101,488
営業利益	859	213	356	132	1,562	△23	1,538

(参考) 平成18年2月期 (自平成17年3月1日至平成18年2月28日)

(単位：百万円)

	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連 結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	101,541	22,918	8,774	2,717	135,950	—	135,950
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	1,162	1,638	6,377	9,179	△9,179	—
計	101,541	24,080	10,412	9,095	145,130	△9,179	135,950
営業費用	100,661	23,911	10,037	8,844	143,455	△9,144	134,310
営業利益	880	169	375	250	1,675	△34	1,640

(注) 1. 事業区分は、事業の種類・性質を考慮して区分しております。

2. 各事業の主な内容

事業区分	主 要 な 内 容
食品関連事業	弁当、おむすび、寿司、調理パン、惣菜等調理済食品の製造、販売
食材関連事業	食品用材料の仕入、加工、販売
物流関連事業	食品関係配送
その他の事業	食品製造設備等の販売

3. 当第3四半期、前第3四半期及び平成18年2月期における営業費用のうち、消去又は全社の項目には、配賦不能営業費用に該当するものではありません。

4. 事業区分の変更

前第3四半期につきましては、食品関連事業、食材関連事業、その他の事業の3区分としておりましたが、その他の事業に含まれていた物流関連事業の営業利益が、営業利益の生じているセグメントの営業利益の合計額の10%を常態として超えることとなり重要性が増したことから、前連結会計年度より、食品関連事業、食材関連事業、物流関連事業、その他の事業の4区分としております。